

■通常事業評価シート【R5年度実施事業／福祉部福祉政策課による自己評価】

(単位：千円)

No.	事業名	総合計画での位置付け (個別目標)	事業の目的 (誰をどのようにするか)	事業の手段 (今年度の主な活動結果)	事業の目的達成に 近づいたか	今後の 方向性	事業費 (決算見込額)	人件費 (参考値)	コスト 合計	事業の課題	今後の改善ポイント	備考
1	高齢者ふれあいセンター朝陽指定管理事業	誰もが社会参加し、活躍できる場がつけられている	高齢者ふれあいセンター朝陽の施設を円滑に運営管理するため、指定管理者の指導及び監督を適切に行う。	株式会社ビケンテクノに管理及び運営を委託した。	2：一定近づいた	継続	58,950	1,820	60,770	次期（令和6年～）指定管理者の更新に向け、関係課との協議・調整等	関係各課（行財政改革課、生涯学習課）と密に調整・連携を図る。	
2	老人クラブ運営助成事業	誰もが社会参加し、活躍できる場がつけられている	高齢者が生きがいのある生活を送れるようにするため、老人クラブ活動に対する指導及び助成を行う。	老人クラブ連合会が行う事業に要する経費に対し助成を行った。	5：達成した	継続	3,328	946	4,274	各単位クラブにおいて、各種活動の担い手不足が認められる。	担い手の育成や申請書類等の事務軽減を図る。	
3	長寿慶賀事業	誰もが社会参加し、活躍できる場がつけられている	敬老の精神の高揚を図り、世代間の交流を促進するため、長寿をお祝いする。	高齢者祝品贈呈　　約840人 金婚をお祝いする会申込組数　115組	3：おおむね近づいた	継続	3,178	1,164	4,342	開催内容を検討していく。	令和2年度以降は、以前と比べコロナ禍につき開催内容を変更していたため、今後について検討が必要。	
4	浜老人集会所指定管理事業	誰もが社会参加し、活躍できる場がつけられている	浜老人集会所の施設を円滑に運営管理するため、指定管理者の指導及び監督を適切に行う。	浜校区老人クラブ連合会に管理及び運営を委託した。	4：大いに近づいた	継続	1,274	728	2,002	次期（令和6年～）指定管理者の更新並びに岸和田市受益者負担制度に基づき利用料などを徴収する条例改正を行う予定	左記につき令和5年度に一部条例改正行う。令和6年4月より、開館時間等変更予定。	
5	シルバー人材センター運営支援事業	誰もが社会参加し、活躍できる場がつけられている	高齢者の生きがいと健康づくり、社会参加を促進するため、シルバー人材センターの運営を支援する。	岸和田市シルバー人材センターの定款に規定する事業の実施に要する費用のうち、センター職員の人件費及び一般運営費の一部について、補助金を交付した。	4：大いに近づいた	継続	10,709	364	11,073	令和5年10月開始のインボイス制度により、シルバー事業にどのような影響が生じるか注視が必要	令和5年度決算状況を把握し、安定的な事業継続に向け協議を行う。	
6	介護予防事業（他課からの一部予算分任事務）	健康意識の向上とともに、介護予防が進められ、心身の健康が維持・増進している	生きがいのある生活や保健医療の向上を図るため、介護予防を推進する。	街かどティハウス事業所に事業の実施を委託した（施設数3箇所）	3：おおむね近づいた	継続	-	364	364	事業の継続に努める。	委託事業等により、介護予防の推進を図る。	
7	老人クラブ運営支援事業（他課からの一部予算分任事務）	健康意識の向上とともに、介護予防が進められ、心身の健康が維持・増進している	高齢者が生きがいを持って健康づくりを行うのを推進するため、老人クラブの活動を支援する。	・岸和田市老人クラブ連合会に「生きがいと健康づくり推進事業」を委託した。 ・「高齢者趣味の作品展」を岸和田市老人クラブ連合会に委託した（令和5年11月7日～9日開催）	4：大いに近づいた	継続	-	728	728	令和2年度以降、コロナ禍により、一部活動に影響が生じた。	岸和田市老人クラブ連合会事務局と連携を図り、各種活動に対して、市広報誌への掲載等を積極的に行う。	
8	戦没者遺家族支援事業	平和で、多様な価値観が尊重され、他者への理解が促進し、自分らしく生活できる環境が整っている	平和の礎となった戦没者を慰霊追悼するため、戦没者遺族の活動を支援する。	・岸和田市戦没者追悼式（令和5年9月23日）の開催 ・岸和田市遺族会の団体運営に関して、助成金の交付を行った。	4：大いに近づいた	継続	1,586	801	2,387	岸和田市遺族会会員の高齢化が認められ、次世代への継承が課題と認められる。	岸和田市戦没者追悼式を、次世代参加型の内容で実施する。	
9	戦没者慰霊施設管理事業	平和で、多様な価値観が尊重され、他者への理解が促進し、自分らしく生活できる環境が整っている	平和の礎となった戦没者を慰霊追悼するため、戦没者慰霊施設を適正に管理する。	岸和田市遺族会に維持管理委託を行い、適正に管理運営を行っていただいた。	4：大いに近づいた	継続	2,446	1,456	3,902	一部施設の老朽化が認められる。	岸和田市遺族会と定期的に連携をはかり、施設保全状況を適切に把握する。	
10	原爆被害者支援事業	平和で、多様な価値観が尊重され、他者への理解が促進し、自分らしく生活できる環境が整っている	戦争被害者の福祉の増進を図るため、原爆被害者を支援する。	原爆被害者の会（はづき会）へ補助金の交付を行った。	5：達成した	継続	200	509	709	事業の継続に努める。	支援の継続を通じて、戦争被害者の福祉の増進に努める。	
11	原爆被害者見舞金給付事業	平和で、多様な価値観が尊重され、他者への理解が促進し、自分らしく生活できる環境が整っている	被爆者に対しての励ましと援護のため、原爆被害者見舞金を支給する。	被爆者健康手帳を所持する原爆被害者に対し1万円を給付した（対象者数43人）	5：達成した	継続	430	364	794	対象者の高齢化により、支給件数が減少した。	転入者については、広報等で周知する。	

■通常事業評価シート【R5年度実施事業／福祉部福祉政策課による自己評価】

(単位：千円)

No.	事業名	総合計画での位置付け (個別目標)	事業の目的 (誰をどのようにするか)	事業の手段 (今年度の主な活動結果)	事業の目的達成に 近づいたか	今後の 方向性	事業費 (決算見込額)	人件費 (参考値)	コスト 合計	事業の課題	今後の改善ポイント	備考
12	地域福祉計画推進事業	地域で支えあい、助けあえる関係が築けている	ともに支えあう地域環境を整えるため、地域福祉計画の企画、調整及び進行管理を行う。	地域福祉推進委員会を開催し、進捗状況の確認を行うとともに計画推進のための検討を行う（推進委員会開催1回）	5：達成した	継続	223	2,183	2,406	事業の継続に努める。	地域共生社会の実現に向け、関係機関等のより一層の連携を図る。	
13	福祉総合センター管理事業	地域で支えあい、助けあえる関係が築けている	福祉総合センターの施設機能を保持するため、施設を適切に管理する。	設備機器の更新などを行い、維持管理に努めた。	4：大いに近づいた	継続	3,963	1,456	5,419	中央監視盤装置機器（空調関連）の劣化等、施設機器の更新が必要である。	令和6年度修繕対応を行う予定	
14	福祉総合センター指定管理事業	地域で支えあい、助けあえる関係が築けている	福祉総合センター等の施設を円滑に管理するため、指定管理者の指導及び監督を適切に行う。	岸和田市社会福祉協議会に管理及び運営を委託した。	3：おおむね近づいた	継続	58,950	1,820	60,770	令和6年度実施予定の指定管理者公募	指定管理施設の適切な管理運営を推進する。	
15	社会福祉協議会支援事業	地域で支えあい、助けあえる関係が築けている	地域福祉活動を推進するため、社会福祉協議会の運営及び事業を支援する。	社会福祉事業（小地域ネットワーク事業、地域福祉活動事業、日常生活自立支援事業）補助金を交付した。	5：達成した	継続	48,552	364	48,916	事業の継続に努める。	補助事業等を通じて、地域福祉活動を推進する。	
16	社会福祉団体支援事業	地域で支えあい、助けあえる関係が築けている	地域福祉活動を推進するため、社会福祉団体の活動を支援する。	4団体に対す補助金を交付した。	4：大いに近づいた	継続	1,050	1,528	2,578	補助金、負担金等適正化基本方針に基づき、各種事業補助要綱の制定	令和4年度各団体との協議終了。団体運営補助から事業補助への転換を図った。令和5年度、新要綱の制定（令和6年施行）を行う予定。	
17	岸和田市地域福祉基金積立事業	地域で支えあい、助けあえる関係が築けている	高齢者等の保健福祉の増進を図るための事業の資金に充てるため、岸和田市地域福祉基金を適正に管理する。	令和5年度実績（積立）未定	5：達成した	継続	-	73	73	事業の継続に努める。	基金の適正管理を推進する。	
18	コミュニティソーシャルワーカー事業	地域で支えあい、助けあえる関係が築けている	ともに支えあう環境づくりを推進するため、要援護者に対して、見守り、相談やサービスの調整などの支援を行う。	中学校区単位に地域の相談員としてコミュニティソーシャルワーカーを配置した（11箇所）	5：達成した	継続	39,100	1,092	40,192	事業の継続に努める。	引き続きCSWの配置をし、支え合いの環境づくりを進める。	
19	地域支え合い体制づくり事業	地域で支えあい、助けあえる関係が築けている	地域における支え合い体制づくりを推進するため、各種事業を行う。	要支援高齢者の緊急事態に備えるためきんきゅうカードを配布した。	4：大いに近づいた	継続	58	218	276	きんきゅうカードの一層の普及に努める。	周知・啓発により支え合いの体制づくりを推進する。	
20	日本赤十字社支援事業	地域で支えあい、助けあえる関係が築けている	地域福祉活動を推進するため、日本赤十字社の事務局として、活動を支援する。	災害義援金・救済金の受付や献血事務・募金事務の支援を行った。	4：大いに近づいた	継続	-	1,820	1,820	事業継続の支援に努める。	日本赤十字の活動を市民へ周知啓発し理解を求める。	
21	福祉総合センター運営事業	地域で支えあい、助けあえる関係が築けている	市民福祉の向上を図るため、福祉総合センターにおける事業（指定管理者が実施する事業を除く）を円滑に運営する。	「高齢者・障害者の健康相談、退職維持向上の運動実践指導事業」「ボランティア養成等講座開催委託事業」を委託した。	5：達成した	継続	16,943	146	17,089	事業の継続に努める。	委託事業等により、市民福祉の向上を図る。	
22	高齢者ふれあいセンター朝陽管理事業	地域で支えあい、助けあえる関係が築けている	高齢者ふれあいセンター朝陽の施設機能を保持するため、施設を適正に管理する。	指定管理者が実施した特定建築物的調査報告等により、施設の現状把握に努めた。	5：達成した	継続	-	801	801	建物は軽微な劣化が認められる。空調機器の更新が喫緊の課題である。	類似施設との機能統合に向け、隣接デイサービス施設との一体的な活用も視野に、計画的な施設修繕等を行う。	
23	公共公益施設整備基金積立事業	地域で支えあい、助けあえる関係が築けている	福祉総合センター施設の整備資金に充てるため、公共公益施設整備基金を適正に管理する。	自販機設置貸付収入の20%（360千円）を令和5年5月基金繰入	5：達成した	継続	-	73	73	事業の継続に努める。	基金の適正管理を推進する。	
24	家族介護支援事業（他課からの一部予算分任事務）	介護や医療保険、障害者支援の福祉サービスなど、誰もが必要な支援を受け安心してきている	住み慣れた地域での高齢者の自立した生活を確保するとともに、家族介護者を支援するため、必要な支援サービスを提供する。	在宅で常時紙おむつを使用している高齢者に対し紙おむつ給付券を支給し、家庭の経済的負担の軽減と保健衛生の向上を図った。	5：達成した	継続	-	4,076	4,076	第9期介護保険事業計画（令和6年4月～）までに支給要件等の見直し検討が必要。	国、近隣市町村の動向に注視しつつ、令和6年7月より、対象要件見直し予定。	

■通常事業評価シート【R5年度実施事業／福祉部福祉政策課による自己評価】

(単位：千円)

No.	事業名	総合計画での位置付け (個別目標)	事業の目的 (誰をどのようにするか)	事業の手段 (今年度の主な活動結果)	事業の目的達成に 近づいたか	今後の 方向性	事業費 (決算見込額)	人件費 (参考値)	コスト 合計	事業の課題	今後の改善ポイント	備考
25	家族介護支援事業 (他課からの一部予算分任事務)	介護や医療保険、障害者支援の福祉サービスなど、誰もが必要な支援を受け安心してきている	住み慣れた地域での高齢者の自立した生活を確保するとともに、家族介護者を支援するため、国制度の対象外となる在宅高齢者等に対して必要な支援サービスを提供する。	在宅で常時紙おむつを使用している高齢者に対し紙おむつ給付券を支給し、家庭の経済的負担の軽減と保健衛生の向上を図った。	5：達成した	継続	-	1,164	1,164	第9期介護保険事業計画（令和6年4月～）までに支給要件等の見直し検討が必要。	国、近隣市町村の動向に注視しつつ、令和6年7月より、対象要件見直し予定。	
26	さわやか生活事業	介護や医療保険、障害者支援の福祉サービスなど、誰もが必要な支援を受け安心してきている	日常生活上の健康保持を支援するため、理美容及び入浴料の助成を行う。	高齢者入浴モデル事業（デイサービスの浴場を利用した介護予防事業）、高齢者等調髪助成事業（理美容券の交付）を行った。	3：おおむね近づいた	継続	144	1,456	1,600	入浴モデル事業について自宅に浴室がない方に限られることや、要介護者はデイサービスを利用できることから利用者数が減少している。	周知方法など検討していく。	
27	高齢者虐待防止事業	介護や医療保険、障害者支援の福祉サービスなど、誰もが必要な支援を受け安心してきている	高齢者が安心して生活できる環境をつくるため、虐待の防止や虐待を受けた高齢者の保護及び養護者（家族等）に対する支援を行う。	虐待の防止や虐待を受けた高齢者の保護（居室確保）及び養護者に対する支援を行った。	4：大いに近づいた	継続	2,269	4,367	6,636	複雑化・困難化する高齢者虐待への対応。	ネットワークの強化を図り、より一層の関係機関等との連携を推進する。	
28	在宅生活支援事業	介護や医療保険、障害者支援の福祉サービスなど、誰もが必要な支援を受け安心してきている	高齢者が在宅生活を安心して送れるようにするため、各種支援サービスを行う。	・緊急時に簡易に第三者へ通報きできる緊急通報機の貸出を行った ・電話機を持たない独居の高齢者に対し老人福祉電話の貸出を行った ・シルバーハウジング入居者に対し生活援助員による日常生活支援サービスの提供を行った	4：大いに近づいた	継続	2,226	2,256	4,482	福祉電話について携帯電話の普及などにより貸出数が減少している。	事業の廃止を含めて検討していく必要がある。	
29	高齢者支援事業	介護や医療保険、障害者支援の福祉サービスなど、誰もが必要な支援を受け安心してきている	住み慣れた地域での生活を確保するため、市民後見人を養成・支援する。	市民後見人を養成し、後見活動を支援した（市民後見人養成講座の開催）	4：大いに近づいた	継続	15	2,256	2,271	制度の普及啓発に努める。	制度の普及啓発に努め、市民後見人の周知や機運の醸成を図る。	
30	認知症ケア事業（他課からの一部予算分任事務）	介護や医療保険、障害者支援の福祉サービスなど、誰もが必要な支援を受け安心してきている	住み慣れた地域での生活を確保するため、認知症の方や介護する家族の支援を行う。	・認知症を支える家族のつどい開催件数1件 ・認知症ケア報告会開催件数1件 ・認知カフェ設置数5箇所	4：大いに近づいた	継続	-	728	728	事業継続と充実に努める	事業の普及に努め、認知症の方や介護する家族の支援を推進する。	
31	高齢者支援事業（他課からの一部予算分任事務）	介護や医療保険、障害者支援の福祉サービスなど、誰もが必要な支援を受け安心してきている	住み慣れた地域での生活を確保するため、在宅生活を営む上での支援を行う。	・成年後見審判申立件数16件 ・成年後見人等報酬助成件数28件	4：大いに近づいた	継続	-	3,712	3,712	対象者の増加への対応。	引き続き事業の継続を進めるとともに、制度の啓発により事業の普及に努める。	
32	老人措置事業	介護や医療保険、障害者支援の福祉サービスなど、誰もが必要な支援を受け安心してきている	在宅で生活が困難な高齢者の健康保持及び生活の安定を図るため、養護老人ホーム及び軽費老人ホームへの入所措置等を行う。	措置対象者数3人	3：おおむね近づいた	継続	14,566	509	15,075	高齢者の生活の安定のため、必要な支援を適切に行うこと。	在宅生活が困難な高齢者自身の意思を尊重したうえで適切な支援を行う。	
33	在日外国人高齢者福祉金給付事業	介護や医療保険、障害者支援の福祉サービスなど、誰もが必要な支援を受け安心してきている	国民年金等の給付を受けることができなかった在日外国人の福祉の増進を図るため、岸和田市在日外国人高齢者給付金を支給する。	支給人数0人（対象者がいないため）	0：進捗なし	継続	-	-	-	対象者なし	対象者なし	
34	災害被害者支援事業	災害などの非常時への準備が進められ、強靱な環境になっている	自然災害、火災等の罹災者の一時的な生活の安定を図るため、災害見舞金の支給及び援護資金の貸付を行う。	災害見舞金支給件数7件	3：おおむね近づいた	継続	1,230	73	1,303	事業の継続に努める。	災害見舞金の支給等を通じて、被災時の生活の安定を図る。	
35	福祉政策課管理事務事業	持続可能で信頼される行政になっている	課内・部内の円滑な運営を遂行するため、庶務全般を効率的に行う。	課内事務の円滑な事務遂行を図った。	5：達成した	継続	508	18,733	19,241	事業の継続に努める。	引き続き、事務の円滑な遂行を図る。	
36	民生委員事業	地域で支えあい、助けあえる関係が築けている	民生委員・児童委員の活動の推進及び充実を図るため、環境整備に係る支援を行う。	民生委員推薦会開催 2回 民生委員永年勤続者表彰 32名	5：達成した	継続	225	2,183	2,408	継続して支援を行う	引き続き、民生委員・児童委員の活動しやすい環境の整備を行う。	

■通常事業評価シート【R5年度実施事業／福祉部福祉政策課による自己評価】

(単位：千円)

No.	事業名	総合計画での位置付け (個別目標)	事業の目的 (誰をどのようにするか)	事業の手段 (今年度の主な活動結果)	事業の目的達成に 近づいたか	今後の 方向性	事業費 (決算見込額)	人件費 (参考値)	コスト 合計	事業の課題	今後の改善ポイント	備考
37	民生委員児童委員協議会支援事業	地域で支えあい、助けあえる関係が築けている	要援護者の相談、指導、調査その他地域住民の福祉向上を図るため、民生委員・児童委員協議会の活動を支援する。	社会福祉団体助成金の支出	5：達成した	継続	568	5,459	6,027	継続して支援を行う	引き続き、岸和田市民生委員児童委員協議会の活動を支援する。	
38	生活困窮者自立支援事業	介護や医療保険、障害者支援の福祉サービスなど、誰もが必要な支援を受け安心してきている	生活困窮者の早期自立を促進するため、包括的かつ継続的な支援を実施する。	自立相談件数 487件	5：達成した	継続	30,997	10,982	41,979	他機関との連携	アウトリーチの充実	
39	物価高騰重点支援給付金支給事業	介護や医療保険、障害者支援の福祉サービスなど、誰もが必要な支援を受け安心してきている	電力・ガス・食料品価格等の物価高騰による負担を軽減するため、特に家計への影響が大きい低所得世帯（住民税非課税世帯等）に対して物価高騰重点支援給付金を支給する。	住民税非課税世帯への給付件数 27,973件	5：達成した	廃止	58,968	10,480	69,448	市全体で取り組む事業として捉え、協力していく職金の意識改革	適切な人員配置、適切な部署で事務を執行する	